



パソコン画面をかたんにスクリーンショットできるソフトを発売 手間なく素早い情報共有でチームの生産性を向上

～ 保存先を10ヶ所設定できサイズ（縦横比）固定や上書きも可能～

ホワイトカラーの生産性を向上させるソフトウェアの開発・販売を行うアクチュアライズ株式会社(所在地：大阪市北区、代表取締役：三島 浩一)は、Windowsパソコンの画面の一部を簡単なキーボード操作でスクリーンショットを撮ってクラウドストレージサービスの「Box」にアップロードし、リンクをクリップボードにコピーするソフト「画面clipse（がめんクリップる）」を発売します。 URL：<https://www.webclipse.com/gamenciple/>

画面clipseをインストールしたWindowsパソコンでCtrl + shift + b のショートカットキーを押すと、マウスカーソルが「+」に変わり、マウスでドラッグした範囲をスクリーンショットします。生成されたJpegファイルは自動でBoxにアップロードされ、共有リンク（または直接リンク）がクリップボードにコピーされる仕組みです。そのBoxの共有リンク（または直接リンク）をメールやチャットで送ることで、目の前にある画面の一部を簡単に他のメンバーと共有することができるので、モバイルで働く外勤メンバーのスマートフォンに送ったり、テレワークをしているメンバーと画面共有することが簡単にできます。

またCtrl + shift + pを押すとパソコンのデスクトップに画像が保存されるなど、キーごとに10ヶ所の保存先を設定することも可能です。ファイル名は日時分秒の14桁を自動付与することに加えて、上書き保存もできるので、変化の多い情報を同じファイル名（URL）で最新の状態に更新させることも可能です。また前回と同じサイズ（または縦横比）でスクリーンショットを撮ることもできるので、Web制作やプレゼン資料の素材を用意する時間が大幅に短縮できます。

※画面clipseの利用にはベースにWebclipseの契約が必要です。

■「Webclipse（ウェブクリップる）」について

WebclipseはWeb画面の情報を一定間隔で自動的にスクリーンショットを撮って画像化し、クラウドに自動でアップロードするアプリケーションです。Webの情報が刻一刻と変化しても、それを最短1分ごとに更新する際、同名上書きで保存するので、ファイル名は変わらず常に最新の状態になります。この技術は2012年に特許を取得しています。

画面clipseと組み合わせると、特定の箇所を自動で画像化することに加えて、任意の箇所を手動で画像化することができるので、情報共有が素早く手間なく行え、チームの生産性を向上させるのに役立ちます。



【発売日】2020年3月1日

【価格】月額25,000円（税別）～ ※Webclipseの基本料金を含む

【このプレスリリースに関するお問い合わせ】

担当：三島浩一

所在地：大阪市北区天神橋10-9 F Bビル

画面clipse

メール：pr@actuarise.com

電話：06-6585-0310